
東方異神録

るいん

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

東方異神録

【Nコード】

N3018Z

【作者名】

るいん

【あらすじ】

現代よりさらに先の時代
そんな世界から幻想入り？

プロローグ

——とある森の中

一人の人間の後ろを、複数の“獣”が追いかけていた

「ハア、ハア、、、、めんどい奴らだッ
、、、喰らえッ！！」

憑依『666ノ悪魔ノ眼』ッ！！」

一人の男が、右手に持っていたカードのような物を頭上に掲げ叫ぶ
すると、彼の周りに大量の黒と白の“眼球”が現れる

それらの眼球が一度光ったと思えば、様々な色の弾を打ち出す

それはとても美しく、鮮やかで、凶悪なモノだった

それらの弾は、無造作に、しかし確実に“獣”を仕留めていった

全ての“獣”が倒れると、彼は呟いた

「何故こうなったし、、、、」

現実と幻想（前書き）

いきますよ

現実と幻想

現代よりもつと後の世界

科学はより発達し、昔では不可能だと言われたことすら、今では実現可能になった

その時代1番の発見は“超能力”である
世界人口の約4割が使えるようになった、不思議な力

その力には様々なモノがあつた
ある者は手から炎を出し
ある者は背中から翼が生えたり
ある者は素手で鉄を砕いたりと

時刻は午前1時

鶏ですら鳴かない時間

一人の男が暗くなつた街中を歩いていた

この男の名は

“音月 皇陽”

17歳で

この街、いや、この世界でただ一人、超能力を2つ“以上”持つ人物

現実と幻想二

さて、この超能力者の皇陽

何故この時間、この場所にいるのか

これは別に、理由があるわけではない

寝付けない事と、何か面白いモノはないか、、

つまり“暇だから”街を歩いてるだけなのだ

しばらく街を歩き、時間を見る

午前2時

皇陽は思った

(ああ、、)

眠たい、、)

帰って寝ればいいのに、、

またしばらく街を歩き回り、気が付けば午前3時

特に何も無かったな、などと思いながら家に帰る

家に着いたときには、日が昇りかかっていた

(とりあえず寝よう、、うん)

玄関を開け、中に入り込む

明日は何をしようか、と考えていると違和感を感じた

「・・・ん？」

踏み出したはず右足が、床に着かないのだ

「え？あれ？・・・えっ!？」

思わず下に目を向けると、目が大量にある、暗い空間があった

「・・・マジかよ、」

そして彼は“スキマ”に落ちていった

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3018z/>

東方異神録

2011年12月10日18時49分発行